

グループワークI (ソフト面)

「屋外イベントの開催を通じて賑わいを創出する」



どのようなイベントをすれば淀川河川敷の賑わい創出に繋がる？

(Aグループで出された意見)

- ・キッチンカーを使ったマルシェ（地元店に出店してもらう）
- ・スポーツ体験ができるエリア、職業体験ができるエリア、大きな遊具（ブランコ）を使って普段味わえない体験ができるエリア、それぞれのテーマに沿って市民が繋がっていく賑わいの場所となるイベント
- ・子どもの暴れることができる場所
- ・釣り大会、投網体験、ワンドで大人も子どもも虫取りや生物に触れる機会、水族館
- ・フリマ
- ・大声グランプリ、楽器を使ったイベント
- ・キャンピングカー展示会
- ・万博の船を鳥飼船着場に着岸させる、船遊び
- ・BBQ選手権
- ・防災ステーションの水防センターと鳥飼サービスセンター（とりかいとぴあ）を連携させたイベント
- ・淀川をオープン化させた活用

(Bグループで出された意見)

- ・大掃除イベント、ごみを使ってミャクミャクを作る、スクラップ大会
- ・八軒家浜までを結ぶマラソン大会を行い、各地域の各拠点ごとに歓迎行事（地域ごとに特色を分ける）
- ・キャットラン、ドッグレース大会、様々な動物とふれあうアニマルラン
- ・デコチャリを作る
- ・クラシックカーイベント
- ・おもしろ自転車競争、暴走エリアを作る
- ・企業と市民を繋ぐコミュニティ
- ・子ども向けサッカー教室
- ・ものづくりワークショップ
- ・しゃぼん玉で遊ぶ（大きいしゃぼん玉の中に入れる等、大人も楽しめる内容）
- ・地域の食材を利用した自炊（キャンプ飯）、魚釣り大会、地引網を使って淀川の生き物を捕まえる
- ・外来種駆除でヌートリアを食べてみる
- ・水災害を考えるワークショップ
- ・起震車による地震の疑似体験や飯ごう炊飯体験を行う防災イベント
- ・キャンプファイヤー
- ・ランタンを低く浮かべるイベント
- ・防災教育の観点から、水の怖さも同時に学ぶことができるエリアを設ける
- ・曲と題材だけ指定したうえで数百人規模の大演奏会を行う
- ・火祭りのような野焼きイベント、フィナーレで川の真ん中に櫓を立てて、ワンド改良作業で伐採した樹木等を集めて最後に燃やすと盛り上がる
- ・盆踊りなど参加型のダンスイベント
- ・自慢事発表会

グループワーク2 (ハード面)

- 「淀川河川公園を整備し、水面や景観を楽しめる賑わいの場所とする」
- 「淀川を子どもが安心して遊べる場とする」「ドッグラン(中型犬・大型犬)」
- 「河川敷利用者の休息拠点をつくる」「BBQエリアを充実させる」



淀川河川敷にこういったハード整備が必要か？

(Aグループで出された意見)

- ・BBQ利用に関わらず、水回りを特に重要な視点として、手洗い場等の水場の整備が重要
- ・イベント以外にも災害時に利用できるよう移動式のトイレ設置をする
- ・夏場に子どもたちが楽しめるように噴水やミストがあるエリアを作る
- ・太陽光発電
- ・町からワンドへのアクセス路の整備、水辺への自転車専用路の整備
- ・河川敷道路をスピードを出して走る自転車と歩行者の安全確保
- ・鳥飼サービスセンター(とりかいとぴあ)の活用
- ・高水敷に樹木を植える(シンボルツリー)ことで、映えスポットになるほか、日陰を利用した休息場所にもなる、冬はクリスマスツリーになる
- ・船着場の安全対策

(Bグループで出された意見)

- ・徒歩で来る歩行者、自転車、自動車、それぞれの淀川河川公園へのアクセス路を整備
- ・おむつ替えトイレ
- ・移動式コンテナを配置し、様々な機能に活用する
- ・動物の汚物処理ができる場所
- ・子ども休息拠点(横になったりできるスペースやトイレ)
- ・浅い小川があれば夏場は助かる
- ・水道栓を設置する
- ・すべり台
- ・アクリル等で水中が見えるようにする
- ・土や砂地の中に少し水を入れて子どもが遊べる干潟や中州を作る
- ・遊びと同時に楽しいだけでなく、水圧体験等、水辺の怖さも知る場所、学校教育の現場